

担任者各位

教育開発支援センター

平成 25 年度春学期「ティーチング・アシスタントを活用した授業」の募集について

「授業におけるティーチング・アシスタント活用に関するガイドライン」に則り、下記の要領にて、「ティーチング・アシスタントを活用した授業」を募集します。

記

1 目的

ティーチング・アシスタント(以下、TA という。)を活用することにより、教育の質的向上をはかり、本学の教育力をさらに高めることを目的とする。

2 募集

(1) 対象科目

全学部の全科目(別紙の指定科目、実験実習科目、演習科目、特別研究等を除く)

※ 情報処理科目等、別紙の科目において TA を活用する場合は、各学部・学科、研究科・専攻等の所属長を通じて、授業開始までに「ティーチング・アシスタント活用授業 申請書(指定科目用)」(様式 1-b,様式 2)を教育開発支援センター長に提出してください。

(2) 募集クラス数

春学期 60 クラス

※ TA の活用時間数については、原則 1 クラス当たり、30 時間とします。申請数が募集クラス数を超えた場合は、時間数の削減、または不採択となることがあるのでご承知おきください。

※ 秋学期の募集は、6 月頃を予定しています。

3 応募要領

(1) 募集期間

春学期 平成 24 年 12 月 20 日～平成 25 年 1 月 31 日

(2) 申請方法

担任者は、各学部・学科、研究科・専攻等の所属長を通じて「ティーチング・アシスタント活用授業 申請書(新規・継続)」(様式 1-a,様式 2)を教育開発支援センター長に提出する。

※ 非常勤講師は、担当科目の推薦母体を通じて、申請書を教育開発支援センター長に提出する。

4 選定方法

下記の選定基準に従い、教育開発支援センター委員会において、TA を活用した授業科目を選定する。なお、結果については、2 月末頃にメールにて申請者に通知する。

- (1) 「授業におけるティーチング・アシスタント活用に関するガイドライン」を遵守していること
- (2) TA を活用することで、教育の質的向上が見込めること
- (3) TA の活用と授業改善との間に関係があること
- (4) その他、TA の人数、履修者数、授業内容等、申請内容を総合的に判断する。

5 担任者の職務

(1) TA の選定

原則として、TA の氏名等を申請書に明記するが、申請書提出前にそれが困難な場合は事後の報告も可能とする。

(2) 授業開講前の TA との打ち合わせ

TA と授業開講前や授業内外で打ち合わせ等を行うことで、業務の内容・責任等を明確に指示する。

(3) TA の勤務管理

担任者は、TA の勤務状況(時間)を勤務翌月の指定日までに所定様式にて、事務局(授業支援グループ)に報告する。

(4) 「TA 活用報告書」の提出

担任者は、学期終了時に「TA 活用報告書」を作成し、教育開発支援センター長に提出する。

(5) 授業評価アンケートを活用した報告

TA が教室で学習支援に携わる場合は、最終授業評価アンケートの自由設問に、以下の TA 活用に関する質問を設定し、「TA 活用報告書」にて報告する。

質問例：「TA がいることにより、授業内容の理解が深まりましたか。」

(6) その他

担任者は、教育開発支援センターが主催する行事等に参加する。

6 研修会への参加

TA は、原則として教育開発支援センターが実施する研修会に参加しなければならない。

7 事例の公表

教育開発支援センター長は、担任者または TA に対して、『関西大学高等教育研究』等において TA を活用した授業の成果報告を依頼することがある。

8 事務局

授業支援グループ 教育開発支援センター 06-6368-1111 (内線 3814)

以上

○別紙指定科目

学部	科目名※	
法	情報処理演習 1	情報処理演習 2
文	情報処理 I	情報処理 II 各テーマ (画像処理、プレゼン、表計算、データベース)
	基礎測量学実習	応用測量学実習
	理科教育の内容	理科教育法
	心理学専修研究Ⅳ	情報メディアの活用
	情報検索演習	情報資源組織演習(二)
経済	経済学ワークショップⅡ	情報リテラシー入門
	経済情報処理演習	
商	情報処理基礎演習	情報処理応用演習
	データ分析論	データ・マイニング論
社会	情報処理基礎演習	情報処理演習 2
	心理学データ解析演習 1	コンピュータ応用演習 1
	情報処理演習 1	情報処理演習 3
	心理学データ解析演習 2	コンピュータ応用演習 2
政策創造	データ分析Ⅰ	データ分析Ⅱ
	データ分析Ⅲ	データ分析Ⅳ
外国語	英語Ⅰ(SFクラス)	英語Ⅱ(SFクラス)
	英語Ⅲ(SFクラス)	英語Ⅳ(SFクラス)
	英語Ⅱ(クリックして読むコース)	
システム理工	情報処理演習	基礎プログラミング
	情報リテラシー実習	
環境都市工	情報処理演習	建築数値計算基礎
	情報活用リテラシー	基礎プログラミング実習
化学生命工	情報処理演習	

※ 科目名は、平成 24 年度開講科目による。